

安全データシート(SDS)

作成日

改訂日 2022年7月1日

1.化学品及び会社情報

化学品の名称 : GSシリコンスプレー
製品分類 : エアゾール

会社名 : 株式会社三共コーポレーション
住所 : 奈良県葛城市新町258
担当部門 : グリーンエース事業部
電話番号 : 0745-62-1317
FAX番号 : 0745-62-1327
推奨用途及び
使用上の制限 : 潤滑・つや出し・さび止め・よごれ防止・離型
整理番号 : 146650/146651/146680

2.危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : エアゾール 区分1
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口)
: 急性毒性(経皮)
: 急性毒性(吸入・蒸気)
: 皮膚腐食性/刺激性
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
: 呼吸器感作性
: 皮膚感作性
: 生殖細胞変異原性
: 発がん性
: 生殖毒性
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
: 吸引性呼吸器有害性

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性)
: 水生環境有害性(慢性)

※ 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報	極めて可燃性の高いエアゾール 高圧容器:熱すると破裂のおそれ 眠気又はめまいのおそれ
注意書き 〔安全対策〕	熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけること。-禁煙。 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。 加圧容器:使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
〔応急措置〕	吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
〔保管〕	施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
〔廃棄〕	内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別： 混合物

組成及び含有量

化学名または一般名	含有量(%) wt	化管法 ⁽¹⁾	化審法 ⁽²⁾	安衛法 ⁽³⁾	CAS番号
シリコンオイル	非公開	—	(7)-476	—	63148-62-9
LPG(噴射剤)	非公開	—	(2)-3	—	74-98-6
		—	(2)-4	No.482	106-97-8

(1) 化学物質排出把握管理促進法 官報公示整理番号(平成21年10月1日施行)
 (2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号
 (3) 労働安全衛生法 法第57条の2、施行令18条の2別表第9 (名称等を通知すべき危険物及び有害物) 政令番号(平成29年3月1日施行)
 —:該当しない

4.応急措置

吸入した場合	使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに石鹸を使用してよく洗い落とすこと。異常がある場合は医師の診断を受けること。
眼に入った場合	目を擦らず直ちに清浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄すること。直ちに医師の診断を受けること。

5.火災時の措置

消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
-------------	-------------------------

保護具及び緊急時措置	: 漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 こぼれた場合はすべりやすいため注意する。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接、河川や下水に流してはいけない。
除去方法	: 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 多量の場合は、土のうなどで囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。 漏出したものをすくいとり、または掃き集めて空容器等に回収する。
二次災害防止法	: 火花を発生しないようコンセントや電気製品のスイッチなどには触れない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 取扱いは換気の良い場所で行うこと。
技術的対策	屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業すること。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護衣を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。ー禁煙 火気注意
局所排気・全体換気	: 取り扱う場合は、屋外または全体換気のある場所で取り扱う。
安全取扱い注意事項	: 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。 容器を転倒、落下させる、衝撃を与える、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。
保管	: 直射日光を避け、換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。
保管条件	酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。 施錠して保管すること。 酸と一緒に保管しないこと。
安全な容器包装材料	: 他の容器に移し替えて保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	

日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 特に必要としない。
手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を使用する。
眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて保護衣を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観 : 無色透明液体
臭い : ほぼ無臭
pH(原液) : 5.0-6.0
融点・凝固点 : データなし
沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし
引火点 : >300℃【シリコンオイル】
自然発火温度 : 約400℃【シリコンオイル】
燃焼又は
爆発範囲 下限、上限 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : データなし
蒸発速度 : データなし
比重(25℃) : 0.97(代表値)【シリコンオイル】
溶解性 : 水に不溶
n-オクタノール／水分配係数 : データなし

分解温度 : データなし

10.安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性 : 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件 : 火気、酸化剤との接触。
混触危険物質 : 強酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物 : 二酸化ケイ素、酸化炭素類、微量の不完全燃焼した炭素化合物、ホルムアルデヒド。

11.有害性情報

急性毒性 : 情報なし
皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
眼に対する重篤な損傷性
/眼刺激性 : 情報なし
呼吸器感作性 : 情報なし
又は皮膚感作性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし

特定標的臓器毒性 －単回ばく露	: 情報なし
特定標的臓器毒性 －反復ばく露	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12.環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性／分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の蓄積性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄は、各自治体の条例に従って行う。 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は許可を受けた産業廃棄業者等に委託して処理する。
汚染容器及び包装	: 必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して、各自治体の条例、関連法規に基づいて廃棄する。

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類	: クラス2.1
国連番号	: UN1950
品名(国連輸送名)	: エアゾール(容積が1L以下のもの)

国内規制

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の 安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光・高温多湿を避ける。火気厳禁。
--------------------	--

緊急時応急措置指針番号	: 126
-------------	-------

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

(平成21年10月1日改正)

労働安全衛生法

危険物	: 施行令別表第1危険物(可燃性のガス)
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
表示対象物質	: ブタン
通知対象物	: 政令番号482【ブタン】

毒物及び劇物取締法 : 非該当

高圧ガス保安法 : 適用除外要件を満たしたエアゾール製品のため適用外

消防法 : 指定可燃物 可燃性液体類

16.その他の情報

◆参考文献

原料メーカーSDS

厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手した資料等に基づいて作成しているが、データの評価等に関してはいかなる保証をなすものではなく、新しい知見により改訂されることがある。使用される環境及び条件については、弊社がコントロールできないため、損失もしくは損害が生じたとしても、弊社はいかなる責任を負わない。

全ての化学品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要である。

本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行うこと。
